

## 牛肉情勢

9月12日 更新 JA全農ミートフーズ株式会社

項 目

1.国産

2.輸入

供給

1.家計消費

2.小売動向

7月 概況

3.外食

7月 概況

4.輸出

1.在庫

1.R6年8月

速報値

2.R6年9月

予測

枝肉相場

部分肉相場

内 容

○ 7月の成牛と畜頭数は、100.1千頭(前年比105.0%)と前年を上回った。  
内訳を見ると、和牛:51.1千頭(前年比111.4%)、交雑牛:22.6千頭(同98.3%)、乳牛去勢:11.3千頭(同101.4%)となった。  
○ 8月の成牛と畜頭数は、速報値(8月31日まで集計)で79.6千頭(前年比93.2%)と前年を下回る見込みとなった。  
○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(8月28日公表)によると、8月、9月の出荷頭数は、交雑種の増加が見込まれるものの、和牛、乳用種の減少が見込まれることから、前年を下回ると予測する。  
(8月 84.5千頭(前年比98.4%)、9月 88.4千頭(同97.8%))  
そのため、3か月平均(7月～9月)では、出荷頭数91.2千頭(前年比100.6%)、生産量29.0千ト(同101.6%)と前年並みの予測となっている。  
  
○ 7月の輸入通関実績は、全体で49.3千トと前年を上回った(前年比127.5%、前月比103.8%)。  
内訳ではチルド:18.9千トン(前年比97.4%、前月比106.5%)、フローズン:30.5千ト(前年比157.7%、前月比102.1%)となった。  
輸入相手国別では、チルドは豪州、ニュージーランドが増加した。フローズンは豪州、米国、ニュージーランド、カナダが増加した。  
(参考:形態別相手国別輸入数量)  
チルド :豪州9.7千ト(前年比105.0%)、米国7.7千ト(同86.2%)、ニュージーランド0.7千ト(同242.7%)、カナダ0.4千ト(同87.4%)、メキシコ0.2千ト(同82.1%)  
フローズン :豪州16.8千ト(同209.8%)、米国6.6千ト(同124.0%)、ニュージーランド2.9千ト(同156.5%)、カナダ1.8千ト(同105.3%)、メキシコ1.5千ト(同70.9%)  
  
○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、国内需要の低迷により低調に推移する中、輸入品在庫量が多く前年同月の輸入量が少なかった等から、8月、9月ともに前年同月を上回ると予測する。  
フローズンは、8月は相場高の影響による米国産輸入量の減少が見込まれることから、前年同月を下回ると予測する一方、9月は、上回ると予測している。3か月平均では、チルドは前年並み、フローズンは上回ると見込んでいる。  
  
令和6年 8月 合計:43.5千ト(前年比95.3%)、チルド:17.4千ト(同100.5%)、フローズン:26.1千ト(同92.1%)  
令和6年 9月 合計:40.2千ト(前年比108.6%)、チルド:15.6千ト(同101.8%)、フローズン:24.6千ト(同113.4%)  
直近3か月(7月～9月)平均 合計:44.4千ト(前年比109.7%)、チルド:17.4千ト(同100.2%)、フローズン:27.0千ト(同117.0%)

○ 総務省発表の7月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり牛肉購入量は411g(前年比86.5%)、支出金額が1,554円(同94.6%)となり、購入量、支出金額ともに前年同月を下回った。  
  
○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の7月の販売統計速報によると、畜産部門の売上高は1,182.9億円(前年比100.1%、既存店ベース99.1%)と前年並みとなった。  
7月は、国産・輸入ともに相場高傾向で販促が組みにくく、牛肉や豚肉から、比較的值ごろ感のある鶏肉へのシフトが続いている。和牛など高単価商品は低迷が続き、ひき肉や小間切れなどの低価格商品の動きが顕著で単価が下落した。猛暑の影響で、焼き材や冷しゃぶ材の動きが良かったが、梅雨明けの遅れや豪雨による影響が見られた地域もあった。加工品は全般的な価格上昇により不調。  
  
○ 日本チェーンストア協会が公表した7月販売概況によると、畜産品の売上は822.2億円(店舗調整後で前年比100.9%)となり、前年並みとなった。  
豚肉、鶏肉の動きは良かったが、牛肉の動きは鈍かった。鶏卵、ハム・ソーセージの動きも鈍かった。  
  
○ 日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査7月度結果報告によると、前年より土日が1日ずつ少なく、記録的な猛暑で一部で外出を控える傾向も見られたが、首都圏ではタ立に見舞われたターミナル駅構内の店舗では雨宿り需要もみられた。訪日外国人客の需要も引き続き売り上げを押し上げ、全体の売上は前年比104.3%となった。値頃感のある商品への支持も続いているが、外食は堅調を維持している。  
業態別; ①ファーストフード 前年比104.2% 猛暑に対応した冷たいメニューが好評で客単価を上げた。五輪開幕後の持ち帰りや土用の丑の日の鰻販売の販促が奏功し、好調。  
②ファミリーレストラン 前年比104.2% 曜日回りやゲリラ豪雨の影響を受けたが、価格改定やインバウンド需要で好調。焼肉店は高単価業態への敬遠や相次ぐ空調故障で売上減。  
③ディナーレストラン 前年比102.8% 曜日回りの影響で売上、客数とも伸び悩んだ。猛暑で外出を控える動きもあったが、訪日客の利用により好調。  
④居酒屋 前年比103.5% 夜間の降雨で一部のビアガーデンに支障が出たものの、コロナ禍からの人流回復傾向が継続し、訪日客の需要が堅調。  
  
○ 7月の輸出実績は747.9ト(前年比118.5%)と前年を上回った。台湾向け(186.1ト、前年比137.1%)、香港向け(126.2ト、前年比118.1%)は前年を上回ったが、米国向け(84.6ト、前年比99.9%)は前年並みとなった。また、カンボジア向け(53.9ト、前年比101.2%)は前年並みだったが、不安定な状況が続いている。

○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、7月末の推定期末在庫量は152.0千ト(前年比95.5%、前月比103.3%)と前年を下回った。  
内訳は、輸入品;140.7千ト(前年比96.0%、前月比104.0%)、国産品;11.3千ト(同90.4%、同95.0%)ともに前年を下回った。  
なお、今後の期末在庫の推移は、8月末;151.9千ト(同94.7%)、9月末;150.9千ト(同96.5%)と、8月、9月ともに前年を下回ると見込まれている。

○ 8月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;8月31日時点)は、和牛去勢A5が2,302円(前年比95.1%)、A4が1,977円(同97.0%)、交雑去勢B3が1,564円(同109.2%)、乳牛去勢B2が1,057円(同136.7%)であった。  
○ 8月は、帰省に加え地震・台風などへの備え等で一時的な需要増があったものの、消費者の生活防衛意識は依然高く、和牛では5等級が前月を下回り、4等級が前月とほぼ同水準となった。  
交雑牛は、和牛代替需要が継続しており前年を上回り、前月とほぼ同水準だった。また、乳牛去勢牛は、高騰する輸入牛の代替需要が堅調なため前年・前月ともに上回った。  
○ 9月は、全国的に酷暑が和らぎ3連休が2度あることから、BBQをはじめとした行楽需要等により需要の増加が想定され、和牛は強含みでの推移を見込む。  
また交雑牛は、和牛代替需要が続いているが、需給に大きな変化は想定されず、横ばいでの推移を見込む。  
一方で乳牛去勢牛は、輸入牛肉の代替需要は継続するものの、限定的であることから弱含みでの推移を見込む。  
◎ 枝肉相場予想:東京市場【税込】

	7月実績	8月速報値	9月予測	10月予測
・和牛去勢「A-5」:	2,353円 (93.5%)	2,302円 (95.1%)	2,350円 ( 94.3%)	2,350円 ( 93.6%)
・和牛去勢「A-4」:	1,969円 (92.3%)	1,977円 (97.0%)	2,000円 ( 96.8%)	2,000円 ( 97.2%)
・交雑去勢「B-3」:	1,557円 (105.1%)	1,564円 (109.2%)	1,550円 (106.6%)	1,550円 (109.0%)
・乳牛去勢「B-2」:	1,024円 (113.0%)	1,057円 (136.7%)	1,000円 (134.0%)	1,000円 (120.8%)

◎ 首都圏仲間価格【税抜】

【和牛:4等級】		【ホルス:2等級】		【交雑牛:3等級】	
・和牛カタセット(スネなし)	: 2,800円	・ホルスカタセット(同)	: 1,850円	・交雑牛カタセット(同)	: 2,300円
・和牛ロースセット(ヒレなし):	5,000円	・ホルスロースセット(同):	3,500円	・交雑牛ロースセット(同):	4,200円
・和牛モモセット(スネなし):	3,500円	・ホルスモモセット(同):	1,800円	・交雑牛モモセット(同):	2,300円
・和牛トモバラ	: 1,800円	・ホルストモバラ	: 1,250円	・交雑牛トモバラ	: 1,400円

備 考

○国内生産量の推移(単位:千頭・%)

暦年	和牛計		交雑牛計		乳牛去勢計		成牛計	
	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比
R2年	477.2	104.2	227.8	96.2	161.6	96.2	1,047.1	100.8
R3年	483.1	101.2	228.9	100.5	154.5	95.6	1,054.6	100.7
R4年	490.2	101.5	248.6	108.6	140.8	91.4	1,083.1	103.0
R5年	506.7	103.5	262.1	105.5	131.5	93.5	1,098.7	101.7
R6年 4月	46.6	107.6	22.3	94.4	11.3	100.4	96.5	103.6
R6年 5月	42.2	110.4	20.7	101.0	10.8	97.5	88.0	103.9
R6年 6月	41.7	102.6	19.7	93.1	10.9	97.5	84.7	95.8
R6年 7月	51.1	111.4	22.6	98.3	11.3	101.4	100.1	105.0

※成牛計は、乳牛雌やその他品種も含まれるため数字が一致しない  
○輸入量の推移(単位:千ト、%)

暦年	輸入数量合計		チルド数量		フローズン数量		＊財務省: 通関実績
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
R2年	600	97.6	262	95.1	339	99.5	
R3年	585	97.4	264	100.9	321	94.7	
R4年	560	95.4	217	83.0	343	104.3	
R5年	504	90.9	199	92.6	305	91.3	
R6年 4月	63.2	93.1	18.2	86.2	45.0	96.2	
R6年 5月	48.5	104.6	17.8	110.5	30.7	101.4	
R6年 6月	47.6	108.9	17.7	107.4	29.8	109.8	
R6年 7月	49.3	127.5	18.9	97.4	30.5	157.7	

○総務省:家計消費量(千円、円、%)

暦年	全国1世帯当たり				チルド 数量	フローズン 数量	合計	前年比
	数量	前年比	金額	前年比				
R2年	7,199	109.8	23,677	111.8	2,341	2,503	4,845	111.6
R3年	6,748	93.7	23,210	98.0	3,490	4,388	7,879	162.6
R4年	6,232	92.4	22,355	96.3	3,737	3,717	7,454	94.6
R5年	5,867	94.7	21,451	95.9	4,222	4,199	8,421	113.0
R6年 4月	450	92.8	1,602	91.1	442.0	337.0	779.0	105.5
R6年 5月	477	92.1	1,795	97.9	347.8	205.1	552.9	98.2
R6年 6月	429	89.6	1,610	101.4	376.8	395.1	771.9	124.3
R6年 7月	411	86.5	1,554	94.6	369.8	378.1	747.9	118.5

○市況の推移: 東京市場(税込み、単位:円/kg、%)

暦年	和牛去勢A-5		和牛去勢A-4		交雑牛去勢B-3		乳牛去勢B-2	
	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比
R2年	2,459	90.0	2,103	87.3	1,398	85.9	924	91.0
R3年	2,702	109.9	2,427	115.4	1,554	111.1	1,004	108.6
R4年	2,607	96.8	2,348	96.9	1,523	98.1	1,042	102.4
R5年	2,558	98.1	2,202	93.8	1,474	96.8	878	84.3
R6年4月	2,494	95.3	2,166	93.0	1,605	106.4	926	85.8
R6年5月	2,468	96.4	2,122	94.9	1,581	105.0	991	105.1
R6年6月	2,380	92.8	1,987	91.3	1,511	104.1	1,014	111.1
R6年7月	2,353	93.5	1,969	92.3	1,557	105.1	1,024	113.0
R6年8月速報値	2,302	95.1	1,977	97.0	1,564	109.2	1,057	136.7

農水省食肉流通統計  
(速報値は農畜産業振興機構が公表する東京市場の平均枝肉価格)